

大河原町では金ヶ瀬さくら大橋近くに似た環境があります。今年はまだ8月だというのに異常落葉(写真③)が見られ桜の将来が危ぶまれています。高校生によるプロジェクトがいま進行中ですが、さらに中学校(写真④)、町の本格的事業へと拡大中です。山では自然に樹が健全に育ちますね。これは土の3相構造が容積比で固



相(土そのもの)50%、気相(空気)25%、液相(水分)25%付近になり根が好む環境で、さらに落ち葉や微生物、ミミズなども関わっています。しかし土地造成を重機に頼る現代では仕様を間違え山から運搬した後の土の容積は根に必要な空気が奪われ最終的に乱した土の7割、地山の9割(固相で70%前後)まで縮んで締め固まってしまいます。桜の土は足で踏み固める程度に留めたいところです。桜の植樹では何よりも土壌が決め手となりますね。百聞は一見にしかず。良い旅でした。



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木

第33回 堤体が桜に及ぼす影響

樹齢が145年という「日本最古のソメイヨシノ」が郡山市の開成山公園で見つかりました(写真①)。

今年4月、年代を説明したという樹木医さんにお会いし桜を見せていただきましたが大河原町の桜と比べて一回り小さく一目千本桜の将来を見るようでした。さらに「叔母が幼い頃、通学中につまずいてよく転んだそうです。」というタコ足のように浮き上がった根と土壌(写真②)に興味があります。ここは元は沼地で当時の記録に「堅牢無比(けんろうむひ)」という文字があり堤防は頑丈だったようで桜はそこに植えられたようです。そのため桜の直根の深さは普通2m位ですが実際には浅根でその樹木医さんは対策として縦穴式土壌改良法(第26回掲載)を実践中でした。

福島県郡山市編



Mayor's column さくら並木

—町長コラム—

『全国町村長大会決議』に思う

～相互連携を一層強固にして、豊かな住民生活と個性あふれる地域づくりに邁進～

大河原町長 齋 清志

去る11月15日に全国の926町村長がNHKホールに集い、『全国町村長大会』が開催されました。ご来賓として岸田総理大臣を壇上でお迎えし、緊張感とともに県の町村会長として出席する貴重な体験をしたところです。そして、町村長相互の連携への強い思いを感じながら、豊かな住民生活と個性あふれる多様な地域づくりの重要性を認識した次第です。

町村の多くは農山漁村地域であり、文化・伝統の継承はもとより食料の供給・水源のかん養・自然環境の保全など、国民生活にとって極めて重要な役割を果たしています。またその中であって、地域特性や資源を活かしながら強靱で持続可能な地域社会の構築と、安全で安心な魅力あるまちづくりに尽力してきたところです。しかしながら、東京一極集中が加速している状況の中で、町村は急速な少子高齢化による人口減少に陥り、総じて税財源の確保が困難な厳しい行財政運営(自治体経営)を余儀なくされているのが実情です。今回の大会決議では、通常の決議に加えて『全国的な防災・減災対策、国土強靱化の推進に関する緊急決議』が採択されました。自然災害が頻発・激甚化する中、地域に暮らす

人々の命を守ることは全ての町村に課せられた最大の使命であり、安全で安心な地域社会を実現し、持続可能な活力ある地域を創生することは喫緊の課題です。

また、『少子高齢化対策の推進と、こども・子育て支援策の強化に関する特別決議』も採択されました。地域に暮らす若い世代が明るい未来を展望できる社会を実現するため、町村では地方創生の取り組みを通して、地域の振興・発展と持続可能性を追求しています。そして、豊かな自然と地域の人々の見守りのもとで、未来を担うこどもたちが希望にあふれ健やかに育つ環境づくりに懸命に取り組んでいます。このような取り組みの積み重ねこそが、我が国の少子化対策につながるものと確信するところです。

その他にも、『農業・農村政策の一体的な推進による食料安全保障の確立等に関する特別決議』と『森林環境譲与税の譲与基準の見直しに関する特別決議』等も採択されました。さらに、令和6年度政府予算編成及び各種政策の具体化に当たっての重点要望も合わせて提案され決議されました。そして、現在のエネルギー・物価高騰等による国民生活及び経済活動へ

の影響が深刻化していることに対する、早急な『経済対策』の実現を強く求めたところです。町村が自主性・自立性を発揮して施策の展開を図るためには、偏在性の小さい安定的な地方税体系の構築や地方交付税の安定的確保等により、地方の自主財源を拡充し、町村の財政基盤を強化することが何よりも大切です。それでもやはり、『地方から国づくり』を実現するための原点は、『我が町ファーストではなく相互連携を一層強固にすること』であることを確信する『全国町村長大会』となりました。

(11月20日記)



▲令和5年11月15日開催 全国町村長大会



令和5年度大河原町食育スローガン

「わが家(町)の食を伝えよう」

ほうれん草とナッツのスパイスヨーグルトあえ



写真は2人分

【ひとり分栄養価】
エネルギー:119kcal 塩分:0.8g

調理担当ヘルスメイトより

ワンポイント

ナッツに豊富なマグネシウムは血管、骨、筋肉等に欠かせない栄養素のひとつです。カルシウム豊富なヨーグルトと和えて、冬の野菜を美味しくいただきます。

松田 章子(錦町区)

材料 2人分

- ・ほうれん草.....1束(約200g)
- ・ミックスマツ(無塩).....20g
- 【A】
- ・にんにく.....1/4かけ
- ・オリーブオイル.....小さじ1
- ・レモン汁.....小さじ1
- ・ヨーグルト(無糖).....大さじ2
- ・塩.....小さじ1/4
- ・カレー粉.....小さじ1/4

作り方

- ①ほうれん草の根元は十字に切り込みを入れ、さっとゆでて水に3分ほどさらす。水気をしっかり絞って4cmの長さに切る。ミックスマツは粗く刻む。Aのにんにくはすりおろす。
- ②ボールにAを入れて混ぜ合わせ、ほうれん草、ナッツを加えてあえる。